

成果の説明書

(氏名) 米本 清	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 ①選好・効用の理論およびその地域経済学への応用に関する研究 以前から進めてきた選好・効用と人口移動・地域経済の理論に関する研究について、以下の国際学会および国内学会にて発表した。 Migration and Utility Formation, the 12th Asian Conference in Regional Science, Ulsan, Korea, 2022 年 8 月 9 日（オンライン参加） Migration, Relative Income, and Evolutionary Psychology, 日本経済学会 2022 年度秋季大会、慶應義塾大学、2022 年 10 月 16 日 ②住民・産業の空間的分布と厚生水準に関する研究 本年度から助成を受けている日本学術振興会科学研究費・基盤研究（C）「感染症・災害を考慮した住民・産業の空間的分布と厚生水準に関する経済学的研究（2022 年度－2026 年度）に関連して、データ収集・整理・分析等を中心とした基礎的な研究を進め、以下の国内学会にて発表した。 「新型コロナウイルス感染症の拡大過程と都市の脆弱性：関東周辺のデータによる検証」日本都市学会第 69 回大会、名古屋学院大学、2022 年 10 月 29 日 ③研究所関連の研究・業務 本学地域科学研究所では副所長を担当し、運営等に参加した。「中心市街地プロジェクト」では高崎市役所へのヒアリングに同行した他、研究会に参加し発表等を行い、成果物の執筆を進めた。その他、所内の企画に積極的に参加した。また、2023 年度から開始する「地域交通プロジェクト」のリーダーとして応募・準備を進めた。 ④その他の研究 研究分担者となっている他の科学研究費研究等に関連して、産業連関等の基礎的な分析を進めた。	
2 その他の事項 指導下の研究室の院生・学生が以下の発表を行った。②の学生は「発表奨励賞」を受賞した。 ①小池常夫・米本清「食料品製造業の地域経済への波及効果について－群馬県北部産業連関表及び群馬県地域間産業連関表の試作－」環太平洋産業連関分析学会第 33 回全国大会、桃山学院大学（2022 年 10 月 30 日） ②山田詞乃助「新潟県長岡市における消雪パイプの現状と持続可能性に関する研究」日本経営工学会関東支部学生発表会、神奈川大学（2023 年 3 月 4 日）	

関東都市学会の理事（2015 年度-）、研究活動委員長（2021 年度-）を務め、学会の例会・大会企画等を行っている。

観光まちづくり学会の理事（2015 年度-）・学術論文審査委員会副委員長（2018 年度-）を務めている。

日本地域政策学会理事（2020 年度-）を務めている。

厚生労働省群馬地方最低賃金審議会委員・専門部会委員（2021 年度-）を務めている。

群馬県明和町「まち・ひと・しごと創生有識者会議」委員を務めている（2022 年 2 月-）。

複数の学会（海外を含む）において大会等の座長や討論者を務め、投稿論文の査読を行った。

明治大学において大学院「学際系総合研究」の非常勤講師を担当し、そちらでの教育成果と本学における教育・研究成果を相乗的に活用している。

学部入門・必修科目である「地域政策学入門」の授業を引き続き担当し、導入科目の充実に努めた。

研究室の 3 年生学生を中心に、榛東村子育て支援イベント（2 回）や高崎市内の「地域コミュニティをつなぐ会」イベント等に参加し地域支援を行った。

大学院で論文審査の副査等を担当した。

地域政策学部地域政策学科長として、学科会議の開催やリレー講義の調整をはじめとする担当業務を行った。

学内の各委員会や入試関連の業務等も積極的に務めた。

3 次年度以降の計画・抱負

本年度から日本学術振興会科学研究費・基盤研究（C）「感染症・災害を考慮した住民・産業の空間的分布と厚生水準に関する経済学的研究」研究代表者および他の科学研究費研究の研究分担者となっているため、計画に従って研究を進める。また、これを含め上記①～④に関連する研究をさらに進め、学会や学術雑誌での発表を行う。

着任後 12 年目となり、教授となったこともあり、講義内容等を大幅にアップデートし、学生のニーズに合わせるとともに、さらに質を高める。演習に関しても、より学生の満足度や教育効果が高くなるよう内容を更新する。